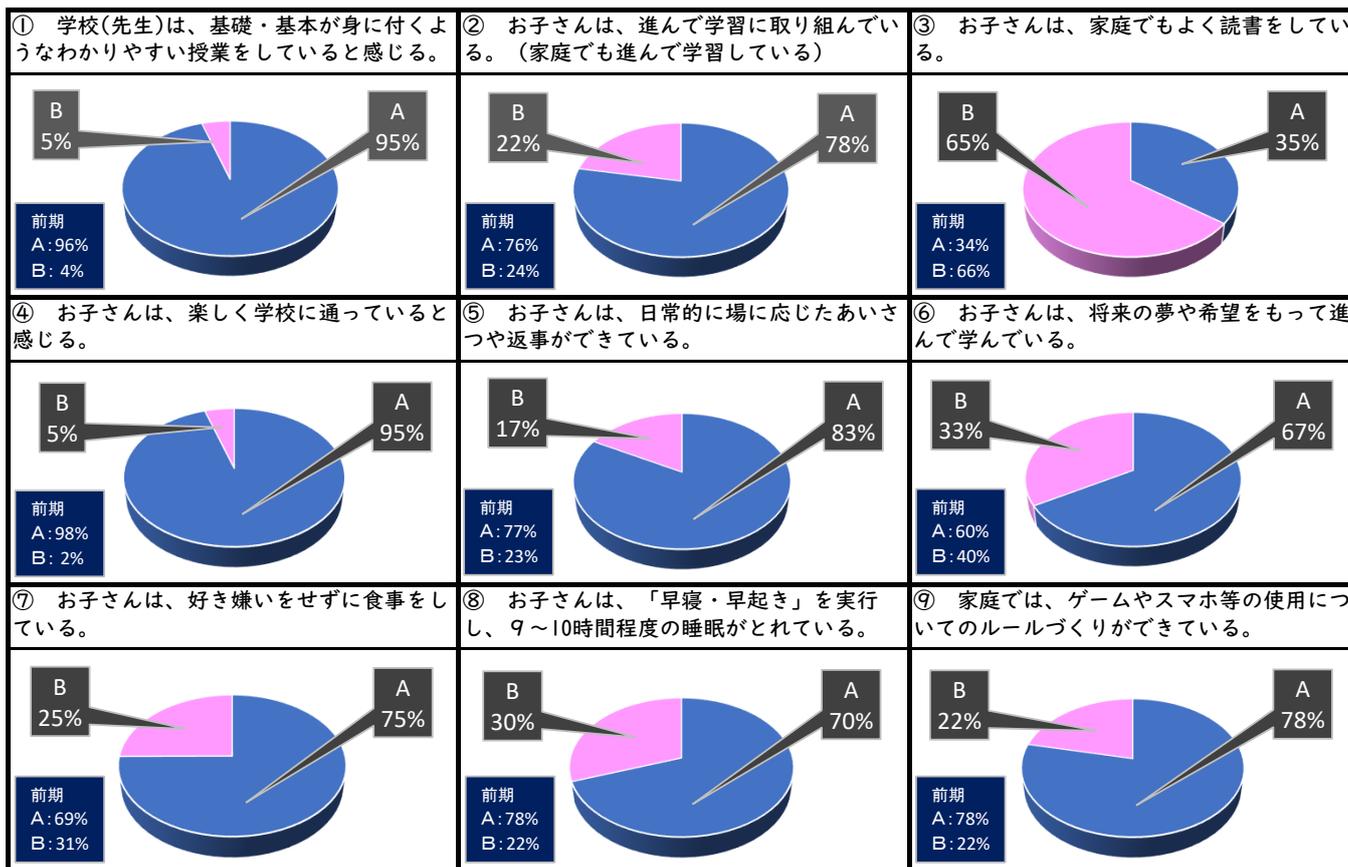


## 第2回学校評価の結果について(ご報告)

調査期間：2023.12

A：「あてはまる」「だいたいあてはまる」割合の合計

B：「あまりあてはまらない」「あてはまらない」割合の合計



|  |  |
|--|--|
| <p><b>&lt;課題とその対策について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ①～③については、前回とほぼ変化がありませんでした。</li> <li>○ ②については、さらに改善が必要かと考えます。宿題だけでなく、自主学習への取り組み方や内容の指導による習慣化が図れるよう、校内でも検討をしていきます。</li> <li>○ ③については、児童のA回答は約14%であり、児童と保護者の捉え方に大きな差がありました。子供たちの意識の中では、読書をしていると認識しているようです。教員からの働き掛けもしていますので、今後も継続して指導していきます。</li> <li>○ ④については、児童では若干改善されたのですが、保護者はB回答が増えました。今後も子供たちの「居場所づくり」を進め、積極的な交流による「絆づくり」に努めていきます。</li> <li>○ ⑤⑦については改善されました。引き続き、ご協力をお願いいたします。</li> <li>○ ⑥の将来への目標や夢については、保護者は若干改善されました。しかし、児童は、B回答が6%から10%に増加しています。子供たちと保護者の捉え方の違いだけでなく、キャリア教育の在り方についても、改善を進めていきます。ご家庭でも、将来に向けて話し合う機会を設けていただくと幸いです。</li> <li>○ ⑧⑨は、関連しています。睡眠時間の少ない子供たちは、ゲームやスマホを長時間使用している傾向があります。ただ、いずれも児童はB回答が10%以下です。つまり、子供たちは、それほど意識や自覚が無いと言えます。学校でも、指導を継続していきますので、ご家庭においても日常的にひとこと声を掛けたり、注意していただくと効果がありますので、よろしくお願いします。</li> </ul> | <p><b>&lt;自由記述内容への対応について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ タブレットの持ち帰りを減らしてほしいというご意見がありました。タブレットは、毎日の家庭学習に使用することを目的としています。そのため学習アプリも用意しています。家庭での活用法の指導が不足していると思われるので改善していきます。</li> <li>◆ 給食白衣の持ち回り、交通安全母の会の役員及びPTA組織の廃止に関するご提案がありました。いずれの内容も、学校だけでは検討できない内容ですので、それぞれの関係者や団体による会合等の場で、案件に挙げていきます。</li> <li>◆ 本調査の公表に関するご意見がありました。この調査結果は、すべて本校ホームページに掲載しており、特に改善を必要とする内容や、学校と保護者の連携による改善内容については、文書による報告もさせていただいています。市内の小中学校の評価や比較については、市教委がとりまとめ市のHPに掲載されます。いずれの掲載についても、掲載後メールでお知らせしています。</li> <li>◆ 1学級の人数の多い学年へのご意見がありました。1学級の人数は、文部科学省や県で決められています。茨城県では、今年度4年生までが1学級35人、来年度5年生までが35人学級となります。そのため、現在の5年生は来年度1学級の予定です。ただ、できる限り、少人数での学習ができるよう、教科や学習内容に応じて、複数の教員による指導を取り入れています。</li> <li>◆ 親子活動の実施と、授業参観についてのご意見がありました。親子活動については、次年度への検討課題としていきます。授業参観につきましては、今年度3回実施していますが、これでも少ないというご意見もあります。最低でも、学期1回の実施にはご理解をいただきたいと思えます。</li> </ul> <p>※ その他のご意見につきましても、真摯に受けとめ、改善等に努力していきます。</p> |
|--|--|